

東京湾水質浄化にかかわる方策に関する調査研究

全体期間

2001.12～2002.12

本文75P～80P

(目 的)

従来より公共用水域の水質改善のため、港湾・河川・下水道事業が実施されており、個々の事業においては一定の成果をあげている。下水道事業においても普及に伴い、東京湾へ流入する河川の水質は改善されてきている。しかし、閉鎖性が強く、水質悪化のメカニズムが複雑な東京湾の水質改善は依然として進んでいない。このため、港湾、河川、下水道がそれぞれ密接に連携を図り、東京湾の水質浄化対策を効率的・効果的に実施する必要がある。

このため、本業務では、港湾部局、河川部局、下水道部局の連携を前提に、閉鎖性の強い東京湾の水質環境を効率的かつ速やかに改善するための方策について調査研究を行い、アクションプログラムを提案する。

(結 果)

(1) アクションプログラムの対象水域の設定

1) 地区特性、2) 水辺空間来訪者、3) 水辺空間へのアプローチ性、4) 即効性やコストパフォーマンス、5) 関係部局との連携、6) 事業の緊急性といった観点から「お台場海浜公園を中心とした東京湾湾奥部」を選定した。

(2) アクションプログラムの基本方針

対象水域の現状および計画期間（10年）を踏まえ、下記のとおり、施策の基本的な内容を取りまとめた。

- ・局所的な閉鎖性水域の水循環改善に向けた放流方法の工夫
- ・水辺環境を改善するためのきょう雑物の流出防止
- ・堆積物の抑制に貢献するSS由来の有機物の流出抑制 等

(3) アクションプログラムの提案1（親水運河編）

- 1) 目標：水辺へのアクセスと水際線の連続性を確保した親水性豊かなアメニティ空間としての運河の再生
- 2) 対象水域：お台場海浜公園の対岸に位置する芝浦処理場放流先の港地区に位置する運河
- 3) 事業内容：港湾部局の事業内容は、護岸、テラス、公園等の親水空間整備、運河等の水質モニタリングおよび運河の浚渫、ゴミ等の浮遊物回収

下水道部局の事業内容は、きょう雑物の削減や底泥の堆積防止を目的とした芝浦処理場における雨天時下水の効率的な処理と放流先の変更、二次処理水を活用した運河の水循環の改善

(4) アクションプログラムの提案2（人工海浜編）

- 1) 目標：安心して遊べる水辺空間の確保
- 2) 対象水域：お台場海浜公園
- 3) 事業内容：港湾部局の事業内容は、人工海浜の維持と漂着物回収等

下水道部局の事業内容は、お台場海浜公園10km圏内にある水質保全効果の高い水系・施設を選定し、合流改善対策を段階的に実施することおよび有明処理場の高度処理水、施設・用地の有効活用

(5) アクションプログラムの提案3（モニタリング編）

- 1) 目標：環境変化の要因を明らかにするためのモニタリング体制の整備
- 2) 対象水域：お台場海浜公園を中心とした水域の水環境悪化の原因等を把握するために必要となる水域
- 3) 事業内容：環境部局の事業内容は、環境基準点等でのモニタリング

港湾部局の事業内容は、海域でのモニタリングおよびデータの集約・管理とデータベース化

河川部局の事業内容は、水系単位でのモニタリング

下水道部局の事業内容は、下水道施設に関する水系単位でのモニタリング

国土交通省関東地方整備局からの受託研究

研究担当者：田中 修司，二階堂 悦夫，白崎 亮，池内 隆司

キーワード

東京湾再生，連携施策，合流改善